

太陽、およびそれを中心として運行している天体の集団。水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星の八個の惑星、準惑星、それに属する衛星、小惑星・彗星(すいせい)等をあわせたもの。



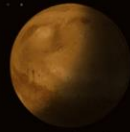
Mercury



Venus



Earth



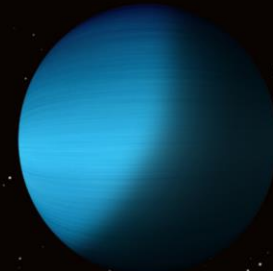
Mars



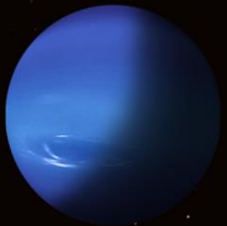
Jupiter



Saturn



Uranus



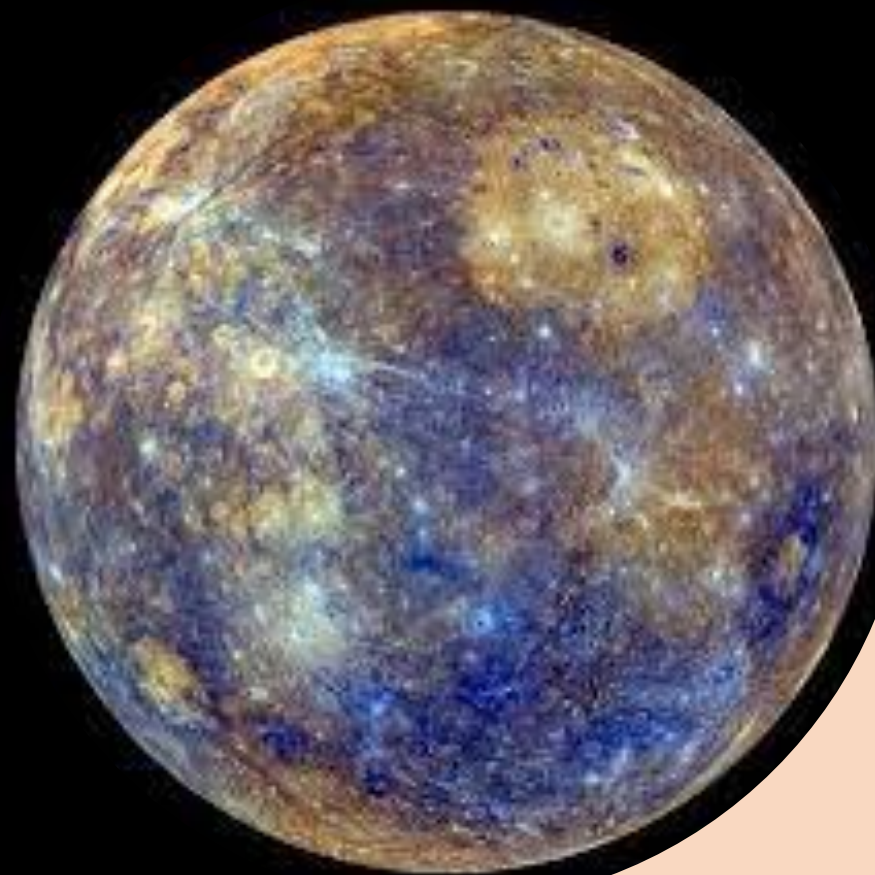
Neptune

太陽系



水星(公転周期 88日)

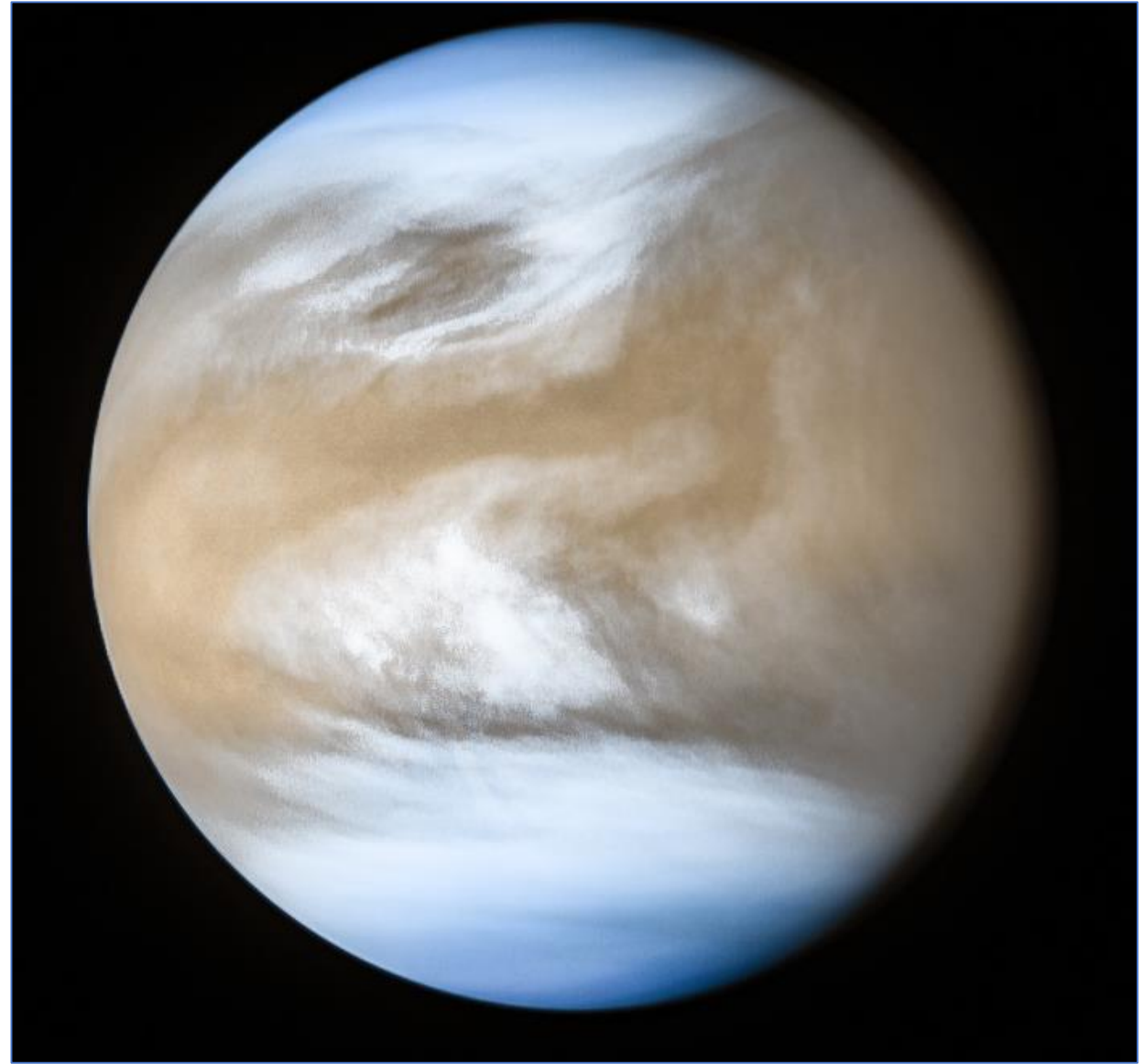
太陽系で赤道半径が最小の惑星で、大気がほとんどなく、表面の温度は $-160\sim 430^{\circ}\text{C}$ と場所による差が大きい。地表は月のようにたくさんのクレーターにおおわれている。



金星

- ・地球より小さい。
- ・表面温度 460℃
- ・厚い硫酸の雲で覆われている
硫酸の雨が降る

金星には非常に厚い大気があり、そのほとんどが二酸化炭素です。そのため二酸化炭素の強い温室効果がはたらき、金星の表面の温度は昼も夜も摂氏460度と、太陽により近い水星よりも高くなっています。大気中には硫酸の粒でできた雲が何kmもの厚さで広がっており、その雲にさえぎられて太陽からの光が直接地表に届くことはありません。





地球

大きさ 12,742^{キロ}

特徴 大気や水があり生物や植物が
生きやすい環境である。

公転周期 太陽の周りを公転する周
期は365日

火星

大きさ 直径 6 7 7 9 k m (地球の約 1.5 倍)

公転周期 6 8 7 日

特徴

二酸化炭素を主成分とするごく薄い大気に覆われている (火星の大気圧は地球の1000分の6)



土星

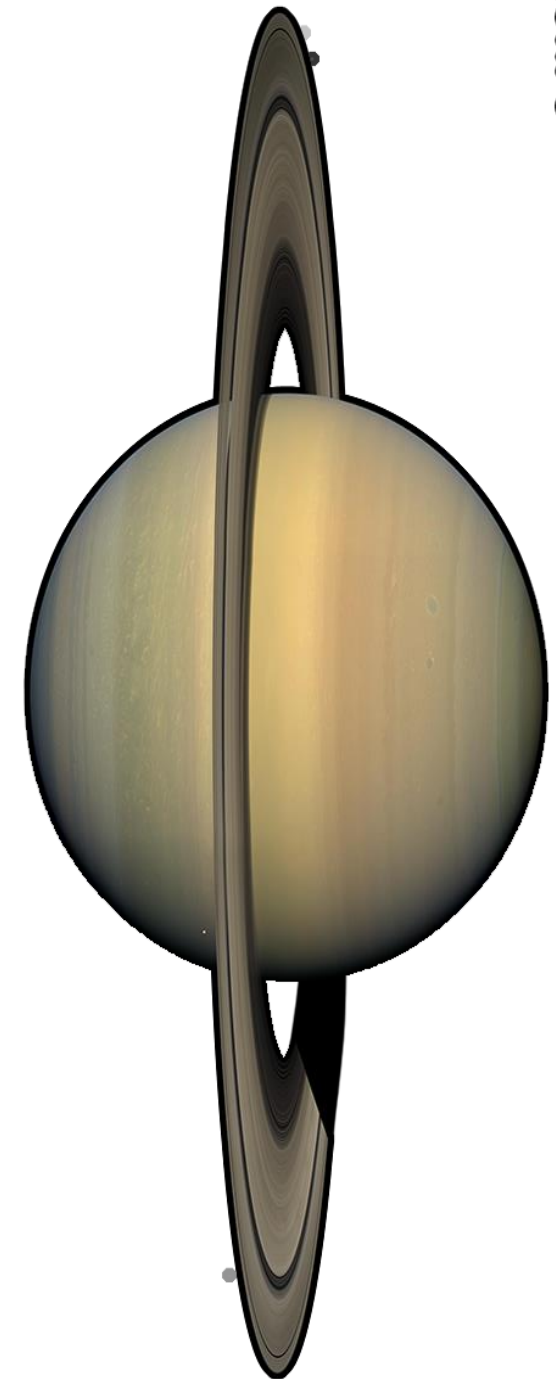
大きさ 116.460km (太陽系では2番目に大きい)

公転周期 29年

表面温度 -180度

特徴

- ・水より密度が小さい。
- ・リングの幅は地球の直径の5.5倍、厚さ数百メートル。
- ・おもに水素とヘリウムからなる大気でできている。



木星

大きさ 直径139,820 km 地球の318倍

木星の公転周期は約12年です。

特徴

表面の温度は、およそマイナス140度。内部の温度は最高で152度。表面は、おもに水素とヘリウムからなる厚い大気をアンモニアなどの雲が覆い、縞模様や台風のようなうずが見られる。



天王星

- ・太陽からの距離: 28億7099万 km
- ・大きさ直径50,724 km (太陽系の惑星の中で3番目に大きい)
- ・天王星の大気は83%が水素、15%がヘリウム、2%がメタンです
- ・公転周期約84年
- ・平均表面温度はおよそ -205 度、最低気温は -214 度
- ・天王星が青く見えるのは、メタンの性質のため

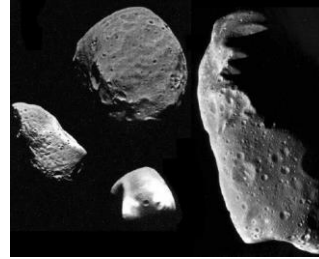


海王星

- 大きさは49, 244km
- 特徴は太陽から1番遠い惑星
- 表面温度は -220°C の極寒
- 公転周期は165年



太陽系の小天体



- ・ 小惑星

太陽の周りを公転する小天体。不規則な形をしており、大きさは様々。

- ・ 衛星

月のように惑星の周りを公転している天体。



- ・ すい星

太陽の周りを公転している、氷やちりが集まってできた天体。

- ・ 太陽系外縁天体

海王星より外側にある天体。1800個以上見つかった。

